

第5章

日本ASEAN友好協力50周年 記念行事

1 特別招へいプログラム

1973年以来、目覚ましい発展を遂げてきた日本とASEANの関係は、2023年に友好協力50周年を迎えた。これを、関係各国政府及び関係各位に対する謝意の表明と今後の一層の協力を要請する機会とするために、参加各国政府及び事後活動組織の代表者を日本に招へいた。

参加各国政府及び事後活動組織の代表者は、12月6日から9日の4日間日本に滞在し、12月7日午後ホテルニューオータニ東京において開催された日本ASEAN友好協力50周年記念交流会に参加した。記念交流会には、

第47回事業参加者(NL及びPY等)も出席し、来賓として在京東南アジア各国大使にも御出席いただいた。

12月8日には、午前に参加各国政府及び事後活動組織の代表者は令和5年度第2回関係各国連絡会議に、また午後に事後活動組織の代表者は事後活動推進会議に出席した。

特別招へいプログラムに参加した各国政府及び事後活動組織の代表者は次のとおりである。

(1) 政府代表者

ブルネイ	Ms. Hajah Noor Maslina binti Haji Sulaiman (文化青年スポーツ省青年スポーツ部青年担当チーフ)
カンボジア	Ms. Sroy Socheath (教育青年スポーツ省青年局長)
インドネシア	Mr. Khairil Adha (青年スポーツ省青年パートナーシップ担当総括補佐) Ms. Hasintya Saraswati (青年スポーツ大臣特別補佐官) Mr. Abdul Latif (青年スポーツ省広報・情報システム・改革推進課責任者)
ラオス	Ms. Keo Oudone Sengmanivong (ラオス人民革命青年同盟事務次官)
マレーシア	Mrs. Wan Azira binti Abd Aziz (マレーシア青年スポーツ省青年育成課国際担当係長)
フィリピン	Asec. Alexa Danielle C. Dayanghirang (国家青少年委員会SOMY担当リーダー)
シンガポール	Ms. Hasliza Binte Ahmad (全国青年評議会青年関与担当課長)
タイ	Mrs. Apinya Chompumas (社会開発・人間安全保障省子供青年局長) Ms. Chayatada Prapasathid (社会開発・人間安全保障省子供青年局社会開発専門官)
ベトナム	Mr. Nguyen Tuong Lam (ベトナム国家青年委員会常任副議長・ホーチミン共産青年同盟書記長)

(2) 事後活動組織代表者

ブルネイ	Ms. Hj Rosmawatiniah PA Hj Ibrahim (Persatuan BERSATU会長) Ms. Nur Amalina binti Ali Yusri (Persatuan BERSATUメディア・広報担当幹事)
カンボジア	Mr. Phann Sophea (SSEAYPインターナショナル・カンボジア執行副会長) Mr. Ros Chanmaravy (SSEAYPインターナショナル・カンボジア研修担当幹事)
インドネシア	Ms. Pia Adiprima (SSEAYPインターナショナル・インドネシア会長) Mr. Sylvanus Hardiyanto (SSEAYPインターナショナル・インドネシア第一副会長) Mr. Brian Christian Chandraputra (SSEAYPインターナショナル・インドネシアメディア情報担当幹事)
ラオス	Mr. Yangpao Payevu (Lao SSEAYP Alumni Association会長) Mr. Thathsaphone Lerththavone (Lao SSEAYP Alumni Association事務局員)
マレーシア	Mr. Che Muhamad Nordin Ismail (KABESA会長) Ms. Suhaila Binti Osman (KABESA副会長)
フィリピン	Dr. Melissa S. Reyes (SSEAYPインターナショナル・フィリピン議長) Atty. Jeffrey Jefferson Y. Coronel (SSEAYPインターナショナル・フィリピン会長)
シンガポール	Mr. Muhammad Hafidz Zainal Abidin (SSEAYPインターナショナル・シンガポール会長) Mr. Goh Kang Shyan Francis (SSEAYPインターナショナル・シンガポール事務局長)
タイ	Mr. Jakraphun Thanateeranon (Association of the Ship for Southeast Asian Youth of Thailand会長) Ms. Pattra Sriputtangkul (Association of the Ship for Southeast Asian Youth of Thailand事務局長)
ベトナム	Mr. Tran Trung Hieu (Viet Nam Alumni Club of Youth Friendship Exchange Programs会長) Ms. Le Hong Nhung (Viet Nam Alumni Club of Youth Friendship Exchange Programs会員)
日本	長末辰也氏 (日本青年国際交流機構会長) 小島まき子氏 (日本青年国際交流機構副会長) 大河原友子氏 (日本青年国際交流機構顧問)
SSEAYPインター ナショナル事務局	田島如子氏 (SSEAYPインターナショナル事務局長) Mr. Pakin Santanan (SSEAYPインターナショナル事務局次長)

2 日本ASEAN友好協力50周年記念交流会

交流会プログラム

- (1) 開会
- (2) 大塚幸寛内閣府審議官挨拶
- (3) Mrs. Apinya Chompumasタイ王国社会開発・人間安全保障省子供青年局長挨拶
- (4) PY代表挨拶
日本YL
フィリピンAYL
- (5) 各国大使館代表の紹介
- (6) 記念品交換
- (7) 由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長乾杯挨拶
- (8) 各国紹介(各国3分)
- (9) 加藤鮎子内閣府特命担当大臣挨拶
- (10) 記念撮影
- (11) 閉会



招待客と懇談するPY



室長による乾杯の挨拶

交流会における挨拶

●日本政府代表挨拶

日本ASEAN友好協力50周年記念交流会の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。本日は、このような節目を共に祝うため、各国大使及び政府代表並びに参加青年を始め、多くの皆様に御列席いただき、御礼申し上げます。

本事業は、1974年の日本とASEAN各国との共同声明を契機に、日本政府とASEAN各国政府の共同事業として開始されました。これまで本事業に参加いただいた1万3千人に上る青年の皆さんは、その経験を礎に、各分野で活躍しておられます。

日本ASEAN友好協力50周年である本年、日本とASEANの未来を担っていく青年が、本事業によって直接顔を合わせ、言葉を交わし、信頼関係を築くことは、誠に意義深いものと考えています。青年の皆さんは、この

加藤鮎子内閣府特命担当大臣

事業を通じて、自分たちの力で乗り越えた経験を糧に、国際社会や地域社会に大いに貢献していただきたいと思っています。

私自身、米国に留学した際には様々な国の学生と交流する機会があり、その時に得られたかけがえのない経験は現在の私にとって大きな糧となっています。短時間ではありますが、先ほど皆さんの活気あるパフォーマンスとそれと一体となって盛り上がる会場の様子を拝見し、皆さんにとっても、この10日間の経験がかけがえのないものとなったことを確信いたしました。

最後に、御出席の皆様の御活躍と日本とASEANの友好が一層深まることを願い、私の挨拶といたします。

●ASEAN政府代表挨拶

Mrs. Apinya Chompumas

タイ王国社会開発・人間安全保障省子供青年局長

本日、日本ASEAN友好協力50周年記念交流会に参加し、ASEAN各国政府を代表して挨拶さしあげることが大変光栄に思います。

まず、この50年間にわたり友好協力を築いてきた日本とASEANの各国政府に感謝します。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、我々は皆、様々な影響を受け、「東南アジア青年の船」事業の対面交流も中断されましたが、今回、4年ぶりに青年たちへ日本への渡航の機会を与えることができたのも、日本ASEAN友好協力、そして日本政府の支援のおかげであり、心から感謝の意を表します。

コロナ禍以降、貧困、教育、健康、環境、パートナーシップといった重要な分野をカバーする国連の持続可能な開発目標(SDGs)を達成することの意義を実感しています。

今年度のSSEAYPでは、参加者全員が、SDGs達成に向けた実行可能なステップを特定するためのディスカッションに取り組みました。これは、日本とASEANの若い

世代が主導する、より良い未来への希望を与える素晴らしい取組です。

今年には日本ASEAN友好協力50周年を迎えます。「東南アジア青年の船」事業は、日本とASEAN各国の青年に有意義な機会を提供してきました。この事業に参加したことによって、多くの青年が自分自身の成長、そして地域・社会の発展に寄与し、また、参加者が地球市民としての役割をますます自覚するようになり、その活動は持続可能なものとなっています。日本とASEAN各国の政府、そして各国事後活動組織の皆様の御支援のもと、友好協力の絆が維持・強化され、日本とASEANの青年の友好協力がますます盛んになることを心から願っております。

最後に、第47回「東南アジア青年の船」事業の成功に御尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げるとともに、今後も我々の友好協力が長く続いていくことを祈念いたします。